

海の向こうの友達で来たよ!

日野中学生恩山面訪問使節団報告

1990年(平成2年)に姉妹都市提携を結んだ日野町と韓国・恩山面。それ以来お互いに訪問し、交流を重ねてきました。

今回で6回目となる「日野中学生恩山面訪問使節団」は、中学生同士の交流が目的です。8月1日から4日までの4日間、団長、日野中学生10名、引率2名、随行1名の計14名の使節団が、恩山面を訪れました。恩山中学生のお宅にホームステイするなど、お互いの文化の違いを学び、心を通わせました。



訪問1日目は、首都ソウルからKTX(新幹線)に乗り、大田を経由し扶餘郡へ入りしました。恩山面事務所を敬訪問し、面長の金昌九さんとお会いしました。その後、近くの食堂で歓迎会をしていただき、韓国を代表する料理「カルビ焼肉」をいただきました。生徒たちは、日本とは違った食卓にとまどいつつ、韓国の食文化を味わいました。

2日目は、恩山別神堂へ参拝しました。ここは、恩山面との交流をするきっかけとなったところです。日野の大字小野には、1,300年前に韓国から移住し、日本の文化に貢献されたと伝えられる「鬼室集斯」を祀る鬼室神社があります。集斯の父である福信將軍を祀っているのが、この恩山別神堂であり、この父子の因縁により、友好を深めることとなったのです。



参拝の後、恩山中学校の生徒たちとの交流会がありました。日野中学生は、校歌・上を向いて歩こう・鳥歌・アリランの4曲を発表しました。

その夜、日野中学生たちは8組に分かれて、恩山中学生のお宅にホームステイをさせていただきました。1泊だけでしたが、どのご家族も笑顔で歓迎してくださり、それぞれに心に残る思い出ができました。

3日目は、恩山中学生たちとお別れした後、扶餘の議員・崔月仙さん主催の昼食会でピビンバをいただきました。

崔さんは、平成13年に日野町に来られた女性使節団の団長です。昼食のお礼に使節団みんなでアリランを歌い、大いに盛り上がりました。最終日の4日目は、ソウル

韓国・恩山中学生との交流

市内観光で、景福宮、安重根記念館、南大門市場や明洞を見学しました。

こうして、たくさん楽しんでいるうちに、使節団一行は、ふるさと日野に帰ってきました。

中学生の感想レポートから

◆一番不安だったホームステイ先の家族の方、中学生の子も快くぼくを受け入れてくれました。とても嬉しかったです。韓国に行ってぼくは様々なことを学んだと同時に、かけがえない思い出を手に入れました。またぜひ行ってみたいです。

◆正座ではなく、あぐらをかいて食べることや、おかずなどは、ひとつのお皿に盛り付けて、それぞれが自分のおはしでとって食べるという事を知りました。韓国の食卓には、辛い料理が一品は入っていました。今回、交流をして、文化の違いなどを知れてとても楽しかったです。この行事が、ずっと続くといいなあと思いました。

◆韓国語でしゃべったり、日本語でしゃべったりしました。あんまり通じなくて初めは困りました。でも、後からはほとんど英語混じりの会話になりました。時間はあっという間に過ぎてしまいました。

◆その中で、相手のいろんな事を知れたし、私の事も知ってもらえたと思います。1泊2日の短いホームステイだったけれど思い出はたくさんできました。3泊4日の中で最高の思い出になりました。

使節団のメンバー (敬称略)

- ◆**団長**(教頭) : 楠本恭久
- ◆**団員**(1年生) : 木田晴奈・瀧井めぐみ・(3年生) : 瀨川詩歩・村田ひかり・高橋智貴・佐山将太・外池聖・井上翔太・村田未那美・マンリケ カロライ
- ◆**引率**(教諭) : 神田松雄・河合夕佳
- ◆**随行**(役場企画振興課主任主事) : 瀨川裕子



▶友達になった恩山中学生たちと、お別れ前に記念写真(恩山中学校前にて)